| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4283 | 180010x0xx0xx | 敗血症（1歳以上） | | なし | 9 | 17 | 60 | 2.966 | 2.144 | 1.822 |
| 4284 | 180010x0xx1xx | 敗血症（1歳以上） | | 1あり | 10 | 21 | 60 | 4.847 | 2.184 | 1.857 |
| 4285 | 180010x0xx2xx | 敗血症（1歳以上） | | 2あり | 15 | 33 | 90 | 3.526 | 2.683 | 2.227 |
| 4286 | 180010x0xx3xx | 敗血症（1歳以上） | | 3あり | 15 | 38 | 120 | 10.082 | 3.380 | 2.873 |
| 4287 | 180010x1xx0xx | 敗血症（1歳未満） | | なし | 3 | 6 | 30 | 2.395 | 1.770 | 1.505 |
| 4288 | 180020xxxxxxx | 性感染症 | | | 4 | 9 | 30 | 2.867 | 2.194 | 1.865 |
| 4289 | 180035xxxxxxx | その他の真菌感染症 | | | 10 | 28 | 90 | 3.767 | 3.002 | 2.552 |
| 4290 | 180040x99x0xx | 手術・処置等の合併症 | | なし | 2 | 8 | 30 | 2.837 | 2.344 | 1.992 |
| 4291 | 180040x99x1xx | 手術・処置等の合併症 | | なし | 6 | 15 | 60 | 3.273 | 2.562 | 2.177 |
| 4292 | 180040x97x1xx | 手術・処置等の合併症 | | あり | 10 | 32 | 90 | 3.022 | 2.449 | 2.081 |
| 4293 | 180050x99xxxx | その他の悪性腫瘍 | | なし | 5 | 13 | 60 | 2.978 | 2.347 | 1.995 |
| 4294 | 180050x97xxxx | その他の悪性腫瘍 | | あり | 6 | 15 | 60 | 2.920 | 2.285 | 1.942 |
| 4295 | 180060x99xxxx | その他の新生物 | | なし | 2 | 4 | 30 | 3.541 | 2.617 | 2.225 |
| 4296 | 180060x97xxxx | その他の新生物 | | あり | 3 | 5 | 30 | 2.659 | 2.055 | 1.849 |

（注）この表における用語については、次に定めるところによる。
（一）「入院期間Ⅰ」とは、診断群分類番号ごとに入院日（日）のⅠの欄に掲げる日数までの入院期間をいう。
（二）「入院期間Ⅱ」とは、診断群分類番号ごとに入院日（日）のⅠの欄に掲げる日数を超え入院日（日）のⅡの欄に掲げる日数までの入院期間をいう。
（三）「入院期間Ⅲ」とは、診断群分類番号ごとに入院日（日）のⅡの欄に掲げる日数を超え入院日（日）のⅢの欄に掲げる日数までの入院期間をいう。

20　4に規定する病院、5に規定する病院及び6に規定する病院の医療機関別係数は、病院ごとに別に厚生労働大臣が定める基礎係数、機能評価係数Ⅱ及び激変緩和係数と、別に厚生労働大臣が定める機能評価係数Ⅰとを合算して得た係数とする。

**○厚生労働省告示第六十九号**

厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法（平成二十年厚生労働省告示第九十三号）第一項第五号の規定に基づき、厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者（平成二十四年厚生労働省告示第百四十号）の一部を次のように改正し、平成三十年四月一日から適用する。

平成三十年三月二十日

厚生労働大臣　加藤　勝信

本則を次の表のように改正する。

（傍線部分は改正部分）

| 改正後 | 改正前 |
|---|---|
| 厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号に規定する厚生労働大臣が別に定める者は、次に掲げる患者とする。<br>一　次に掲げる診療報酬の算定方法（平成二十年厚生労働省告示第五十九号）別表第一医科診療報酬点数表に規定する手術を受ける患者<br>イ　Ｋ０４６―３　一時的創外固定骨折治療術<br>ロ　Ｋ０６０―２　肩甲関節周囲沈着石灰摘出術　２　関節鏡下で行うもの<br>ハ　Ｋ０７６―２　関節鏡下関節授動術<br>ニ　Ｋ０８２―４　自家肋骨肋軟骨関節全置換術<br>ホ　Ｋ１３３―２　後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）<br>ヘ　Ｋ１４２―５　内視鏡下椎弓形成術<br>ト　Ｋ１８８―２　硬膜外腔癒着剥離術<br>チ　Ｋ２６８　緑内障手術　６　水晶体再建術併用眼内レーン挿入術<br>リ　Ｋ３２０―２　人工中耳植込術<br>ヌ　Ｋ４００　喉頭形成手術　３　甲状軟骨固定用器具を用いたもの<br>ル　Ｋ４６３―２　内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術<br>ヲ　Ｋ４７４―３　乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）　２　ＭＲＩによるもの<br>ワ　Ｋ５２０　食道縫合術（穿孔、損傷）　４　内視鏡によるもの<br>カ　Ｋ５２３―２　硬性内視鏡下食道異物摘出術<br>ヨ　Ｋ５２４―３　腹腔鏡下食道憩室切除術<br>タ　Ｋ５２５―２　腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術<br>レ　Ｋ５２６―４　内視鏡的食道悪性腫瘍光線力学療法<br>ソ　Ｋ５２８―３　胸腔鏡下先天性食道閉鎖症根治手術<br>ツ　Ｋ５３０―３　内視鏡下筋層切開術<br>ネ　Ｋ５６０―２　オープン型ステントグラフト内挿術<br>ナ　Ｋ５６１―２　内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術<br>ラ　Ｋ４６２―２　内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）<br>ム　Ｋ４６４―２　内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術<br>ウ　Ｋ５０８―３　気管支熱形成術　10　壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）<br>ヰ　Ｋ５１４　肺悪性腫瘍手術<br>ノ　Ｋ０８０―６　関節鏡下股関節唇形成術<br>オ　Ｋ１７１―２　内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術　２　頭蓋底脳腫瘍（下垂体腫瘍を除く。）<br>ク　Ｋ０８３―３　同種骨移植（特殊なもの）<br>ケ　Ｋ０８４―２　同種骨移植（軟骨移植術を含む。）　３　同種骨移植（非生体）　イ　Ｊ００７―２　硬膜外自家血注入<br>ロ　Ｊ１１８―４　歩行運動処置（ロボットスーツによるもの）（１日につき）<br>ハ　Ｋ０５９　骨移植術（軟骨移植術を含む。）　３　同種骨移植（非生体）　イ　Ｋ０４６―３　一時的創外固定骨折治療術<br>ロ　Ｋ０６０―２　肩甲関節周囲沈着石灰摘出術　２　関節鏡下で行うもの<br>ハ　Ｋ０７６―２　関節鏡下関節授動術 | 厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号に規定する厚生労働大臣が別に定める者は、次に掲げる患者とする。<br>一　次に掲げる診療報酬の算定方法（平成二十年厚生労働省告示第五十九号）別表第一医科診療報酬点数表に規定する処置、手術又は放射線治療を受ける患者<br>イ　Ｊ００７―２　硬膜外自家血注入<br>ロ　Ｊ１１８―４　歩行運動処置（ロボットスーツによるもの）（１日につき）<br>ハ　Ｋ０５９　骨移植術（軟骨移植術を含む。）　３　同種骨移植（非生体）　イ　Ｋ０８２―４　自家肋骨肋軟骨関節全置換術<br>ホ　Ｋ１３３―２　後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）<br>ヘ　Ｋ１４２―５　内視鏡下椎弓形成術<br>ト　Ｋ１８８―２　硬膜外腔癒着剥離術<br>チ　Ｋ２６８　緑内障手術　６　水晶体再建術併用眼内レーン挿入術<br>リ　Ｋ３２０―２　人工中耳植込術<br>ヌ　Ｋ４００　喉頭形成手術　３　甲状軟骨固定用器具を用いたもの<br>ル　Ｋ４６３―２　内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術<br>ヲ　Ｋ４７４―３　乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）　２　ＭＲＩによるもの<br>ワ　Ｋ５２０　食道縫合術（穿孔、損傷）　４　内視鏡によるもの<br>カ　Ｋ５２３―２　硬性内視鏡下食道異物摘出術<br>ヨ　Ｋ５２４―３　腹腔鏡下食道憩室切除術<br>タ　Ｋ５２５―２　腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術<br>レ　Ｋ５２６―４　内視鏡的食道悪性腫瘍光線力学療法<br>ソ　Ｋ５２８―３　胸腔鏡下先天性食道閉鎖症根治手術<br>ツ　Ｋ５３０―３　内視鏡下筋層切開術<br>ネ　Ｋ５６０―２　オープン型ステントグラフト内挿術<br>ナ　Ｋ５６１―２　内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術<br>ラ　Ｋ４６２―２　内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）<br>ム　Ｋ４６４―２　内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術<br>ウ　Ｋ５０８―３　気管支熱形成術　10　壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）<br>ヰ　Ｋ５１４　肺悪性腫瘍手術<br>ノ　Ｋ０８０―６　関節鏡下股関節唇形成術<br>オ　Ｋ１７１―２　内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術　２　頭蓋底脳腫瘍（下垂体腫瘍を除く。）<br>ク　Ｋ０８３―３　同種骨移植（特殊なもの）<br>ケ　Ｋ０８４―２　同種骨移植（軟骨移植術を含む。） |